

# 第10回

(1)

## 不定詞

# そもそも不定詞って何？

不定詞(infinitive)とは・・・

主語の性・数や時制によって**変化しない**動詞の形

to 不定詞

I want **to go** there.

原型不定詞(to無し)

I saw him **sing**.

 **ちなみに・・・**

不定詞(infinitive)



定詞(finite form)

主語の性・数や時制に応じて**変化した**動詞の形

それでは・・・

「不定詞」っていつから  
あった？



用法は現在と  
同じなの？



# 謎1 不定詞っていつから？

古英語

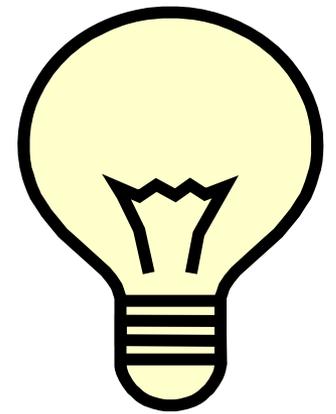
不定詞

tō(< to)付き不定詞

tō(< to)無し不定詞

**古英語から不定詞は存在！**  
「tō付き不定詞」と「tō無し不定詞」  
の二種類があった

## 謎2 用法は？



tō付き不定詞 (接尾辞 -enne)

動名詞の機能(動詞・名詞両方の機能)を持つ

例

Hit is god godne to herienne.

[ It is good (the) good to praise.= It is good to praise the good ]

動名詞的機能

いい人を褒めるのはいいことだ。

### tō無し不定詞（接尾辞 -an）

#### 用法

- 動詞の目的語
- 動詞の目的補語

例) ic geseah ða englas dreorige **wepan**.

[I saw those angels bitterly **weep**.]

動詞の目的補語

私は天使が激しく泣いているのを見た

# おまけ：文脈に左右される名詞用法

不定詞

名詞的機能

受動

能動

いずれにも  
解釈可能

名詞用法

例 Is to witenne.

意味は受動

[Is to note. = It should be to be noted]

注意すべきである。

現在の  
用法に  
影響

現在 例) I am to blame for his laziness.  
彼の怠慢は私が責められるべきである。

# 確認問題



古英語の不定詞の種類を2種類あげ、  
それらの特徴を説明してみましよう

# 確認問題



・to付き不定詞

特徴: 動名詞の機能(動詞と名詞の両方の機能)を持つ

・to無し不定詞

特徴: 動詞の目的語と目的補語になる